

# 双葉中学校 学校関係者評価書

令和4年2月21日(月)

双葉中学校 学校関係者評価委員会作成

第1回 学校関係者評価委員会

実施日：紙面にて開催

会場：紙面にて開催

参加者：(学校関係者評価委員) 増坪總明 柳本博美 長谷部集 志村修 平井晃司  
(学校側) 小林 大 市川英雄 荻野秀紀

## I 学校側から提案された内容

- ・ 自己評価・生徒アンケート・保護者アンケート結果
- ・ 比較集計結果表（昨年度と今回の生徒・保護者アンケート，教員自己評価の比較）
- ・ 自己評価書

## II 協議された主な内容

提案された内容に対して、アンケートで質問意見をいただく

### <学校関係者評価書>

#### I 全体評価

○A（そう思う）B（ややそう思う）を合わせると、90%を超える肯定的評価の項目が多くなっている。感染症予防の対応に追われる中、逆に職員集団のまとまりを感じる項目が多い。

- ・ 教師自己評価 I (学校教育目標・学校経営)  
項目3，4以外は100%であり高水準である。CD評価が大きく減った。項目3（教育活動のPDCAサイクル）も95%の高い評価であり、昨年より大きく向上し改善されつつある。
- ・ 教師自己評価 II (学校運営)  
8項目中、6項目で90%以上のAB評価である。項目1（危機管理），項目6（校務支援システム）はCD評価が約15%あり、改善の余地がある。校務支援システムの活用に課題がある。
- ・ 教師自己評価 III (学習指導)  
項目4，6を除いてAB評価が90%前後である。項目4のICT，項目6の家庭学習指導，に課題を残す。ICTについては大きな課題の1つである。
- ・ 教師自己評価 IV (生徒指導)  
項目7以外は95%以上のAB評価で、肯定的評価であった。項目7（不登校対策）については、小中連携や家庭対応を含めて、今後とも本校の大きな課題である。
- ・ 教師自己評価 V (地域との連携)  
項目1（地域の人材活用），項目4（PTA活動）などに課題を残す。感染症対策で地域との連携事業が停滞してしまったことも大きい。各種たよりや学校ホームページ，安心メールの活用は肯定的評価が高かった。
- ・ 教師自己評価 VI (学校の特色)  
今年度はすべての項目で95%以上のAB評価である。
- ・ 教師自己評価 VII (創甲斐教育)  
今年度はすべての項目で90%前後のAB評価である。
- ・ 生徒アンケートからは、全体としてAB評価が昨年より多く、概ね肯定的な回答である。「学校の授業が楽しい」「先生は勉強を丁寧に教えてくれる」などの項目が年々上昇している。課題は「規則正しい家庭生活」の項目が低下したことである。コロナ禍で学校行事や部活動が制限されていることも影響しているかもしれない。
- ・ 保護者アンケートからは、多くの項目でAB評価にシフトする傾向であるが、授業参観や学校開放日，PTA活動の数値が低下している。感染症予防の影響で、保護者が学校に来校する機会がなくなってしまったことが今後の課題である。

## II 特徴

- ・これまでの教育活動を継続してさらに積み上げていく。授業参観や学校開放日について、保護者がより学校を深く知ることができるように、感染症対策や日程調整を行い、進める。
- ・学校の特色や職員のまとまりについて、昨年度より深まった様子が見られる。さらに全職員で一丸となって、教育活動の意義や効果を共通確認し検証を行い、確実に実践していく。
- ・学校ホームページやメールなど学校から地域への情報発信に対して今後も力を入れていく。

## III 今後の課題として意識していくこと

- ・学校の教育活動自体の数値は安定しているが、PDCAサイクルの確立については課題があり、もう少し研究や検証が必要である。教職員の情報の共有と、相談する中で諸問題を迅速適切に解決していくための手段を、校務支援システム等を活用しながら確立していくことが必要である。
- ・コロナ禍の2年目で、本年度も様々な教育活動に影響が出た1年であった。ここ2年間停滞している保護者や地域社会との協働が一層大切となってくる。地域人材や資源の活用について、地域や生徒の実態に基づいた教育課程の編成とその実施、知徳体のバランスのとれた生徒を育成し、さらに学力の向上を図る取り組みを進めていく。学校の大きな課題であるGIGAスクール構想やデジタル教科書の導入もあり、ICTを活用した授業について研修を積み、教員の資質・能力を育成し、学校全体で取り組んでいきたい。

### 学校評議員より

- ・全体的に、肯定的な数値が多く、先生方の努力の結果ではないかと考えることができる。
- ・コロナ禍の影響で今までの双葉中学校の特徴（PTA活動、地域連携、挨拶運動、学校開放）が停滞しているが、アフターコロナに向けてのことを考えておかなければならないと思います。
- ・学校ホームページや安心メールの発信が効果的であったことが伺える。
- ・修学旅行や学園祭の縮小実施は、安全・安心上やむを得ない。
- ・PTAとして、学校の内部に入る機会があると、職員の苦勞が伺える。

### ※特記事項

特になし

記載責任者（双葉中学校 学校関係者評価委員） 氏名：増坪 總明 印